

集談会ニュース

私たちの薬局では、薬剤師のさらなる能力向上を目指して、薬局での活動内容を発表する集談会という薬局学術交流会を毎年開催しています。

今年は6回目で、10月29日に開催されました。各薬局から以下のような発表がありました。また、今回は初めてグループに分かれて薬局でも活動や仕事を行う上での問題点等話し合うグループワークも実施しました。

＜発表内容＞

- ①「医療安全～事例から学ぶ 2022」（永田社長）
- ②「かかりつけ患者との関わり方～歩行困難な
- ③ 状況を発見したら～」(みつぎ薬局)
- ④「健康サポート薬局としての活動について」
(うのき薬局)



- ④「高用量 PPI 服用者への対応について」
(ゆたか調剤薬局)
(※PPI は胃酸の分泌を抑えて胃を治療する薬を指す)
- ⑤「2 型糖尿病患者における経口セマグルチドとエンバグリフロジンの効果比較」
(大森薬局)

それぞれの発表やグループワークを通じて今後どのように、よりよい治療をすすめていくか、健康サポート薬局としてどのように活動を進めていくかなどについて活発な議論が行われました。参加者からは、グループワークは新しい試みでよかった、他の薬局の活動を知ることで刺激を受けた、などの感想が寄せられました。



また、来年入職予定の奨学生や、現在大学に通っている薬学生も参加しました。薬学生からは、有意義な交流会でまた参加したいとの話がありました。

これからもこのような活動を通して薬剤師としてのさらなるレベルアップを目指します。